西部建設災害復旧ニュース

広島県西部建設事務所
VOL.14 H30.8

土砂災害の発生から4年が経過します

平成26年8月20日に広島市に甚大な被害をもたらした土砂災害から間もなく四年を迎えます。

犠牲となられた七十七名の方々に対して、改めてご冥福を申し上げるとともに、被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

また、先月発生しました平成30年7月豪雨災害では、広島県内全域で甚大な被害を受けました。西部建設事務所では、四年前の土砂災害の教訓を踏まえハード面・ソフト面で対策を進めてきましたが、多くの死者や行方不明者が出た事を、非常に残念に思っております。

この度の災害では、災害に関する情報が必ずしも避難行動に繋がらなかったことが大きな課題だと考えており、適切な避難行動を実践していただくための取組を強化していく必要があると思っております。

今年度は豪雨災害の対応とともに、砂防堰堤等の整備を進め、広島土砂災害からの、早期の復旧・復興に取り組んでまいります。

地域の皆様には今後ともご迷惑をおかけしますが、引き続き、事業への御理解と御協力をいただきますようよろしくお願いします。

広島県西部建設事務所長　石井　和夫

根谷川支川99上流砂防ダムが完成しました

広島市安佐北区可部東6丁目の根谷川支川99では、不安定土砂の崩壊等に備え既に完了した災害関連緊急砂防事業に加え、さらに地域の安全性を高めるため特定緊急砂防事業により、上流及び下流にそれぞれ1基砂防ダムを施工しました。下流の砂防ダムは平成29年7月に完成しており、上流の砂防ダムは本年5月に完成しました。

上流の砂防ダムは高さ10.5m、堤長60mで、通水部に鋼製スリットを設置する透過型砂防ダムです。

この砂防ダムは、通常時は流砂等を通過させ、土石流発生時に多くの土砂や流木を補足することができます。

今後は、取付流路・管理用道路などの工事を施工して当該渓流の対策は完了します。早期の事業完了に向けて引き続き鋭意進捗を図っていきます。

急傾斜地崩壊対策事業の進捗状況

○山根地区

広島市安佐北区可部町桐原の山根地区では、平成29年度工事（法枠工・擁壁工30m）が本年7月に完成しました。

当該箇所は工事延長が590mもあり、事業完成までにかなりの年数がかかりますが、荒廃状況等に応じて施工箇所を順次選定し、早期に整備を進めます。

表　特定緊急砂防・急傾斜事業の完成状況

	事業箇所	事業内容	完成時期
砂防（特定緊急）	根谷川支川65	山腹工，渓流保全工	H28.3【完成】
	根谷川支川99	砂防ダム工（下流）	H29.7【完成】
		砂防ダム工（上流）	H30.5【完成】
		管理用道路　等	H30.10（予定）
	根谷川支川101	堆積工，渓流保全工	H29.11【完成】
	谷尻川	砂防ダム工	H29.3【完成】
	石丸川	渓流保全工（1期）	H28.12【完成】
		渓流保全工（2期）	H30.3【完成】
	桐原川支川13	砂防ダム工	H29.6【完成】
		渓流保全工	H30.3【完成】
急傾斜	山本8丁目26地区	法枠工，擁壁工	H27.9【完成】
	梢台団地地区	法枠工，擁壁工	H28.12【完成】
	桐原501地区	法枠工，擁壁工	H30.3【完成】
	山根地区	法枠工，擁壁工	H30年代（予定）

通常砂防事業の進捗状況

○桐原川支川21

広島市安佐北区可部町桐原の桐原川支川21では、平成29年度工事が本年7月に完成し、対策事業が完了しました。

第1工区（平成28年度施工）で砂防ダム本堤（高さ10.5m、堤長43m）が既に完成しており、平成29年度工事では下流の流路工等の工事を行いました。

工事期間中、桐原地区では砂防ダムや治山ダムの工事を行っているため、一般交通への影響が懸念されました。そのため、当該工事含めた桐原地区で行われている工事の担当者間で「桐原地区安全対策協議会」を設立しています。県・市の間で交通誘導の一本化や工程の情報共有など綿密な連携を図り、安全に工事を進めていくよう努めています。その結果、当該工事では大きな交通トラブルもなく順調に工事を施工することができました。

○根谷川支川60

広島市安佐北区大林町の根谷川支川60では、平成29年度工事が本年4月に完成し、対策事業が完了しました。

第1工区（平成28年度施工）で砂防ダム本堤（高さ11m、堤長53m）が完成しており、平成29年度工事では下流の流路工等の工事を行いました。

当該工事箇所は、狭隘な市道（最小幅員2.8m）の先にあり、民家が密接している地形条件であったため、必要最小限の搬入で現場作業が可能な工法が求められていました。そのため、現地発生土砂にセメントを混合して砂防ダムの堤体材に使用する工法を採用しました。

その結果、搬出土砂の削減による工事車両の通行量が削減され、安全に工事を施工することができました。

表　通常砂防事業の完成状況

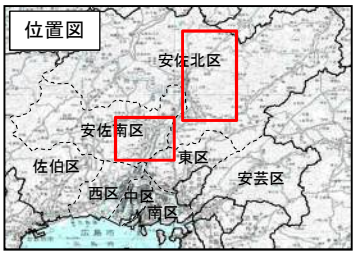
	事業箇所	事業内容	完成時期
砂防（通常）	根谷川支川60	砂防ダム工	H29.3【完成】
		流路工等	H30.4【完成】
	根谷川支川70	砂防ダム工，流路工等	H29.11【完成】
	桐原川支川7	管理用道路工	H29.9【完成】
		砂防ダム工，流路工等	H31.3（予定）
	桐原川支川21	砂防ダム工	H29.5【完成】
		流路工等	H30.7【完成】
	桐原川支川22	砂防ダム工（下流）	H30.12（予定）
		砂防ダム工（上流，中流）	H30年代（予定）

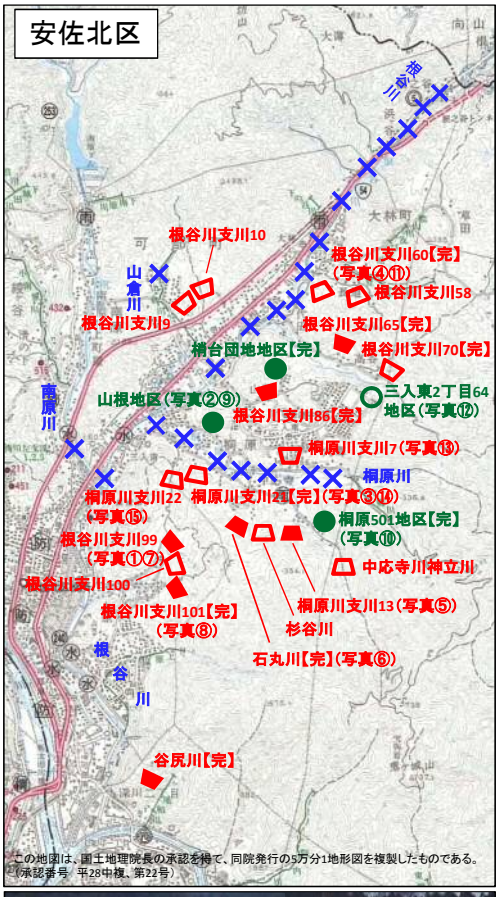
○その他の事業

桐原川支川22は、渓流内に3基の砂防ダムを建設する計画で、現在は最下流の砂防ダム工事を行っています。

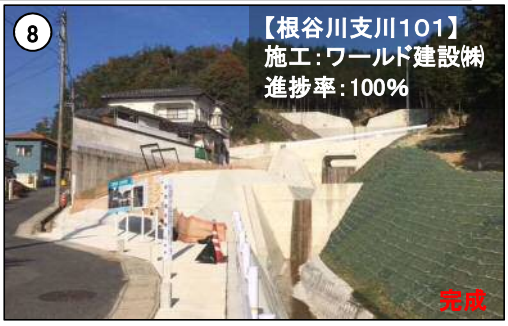
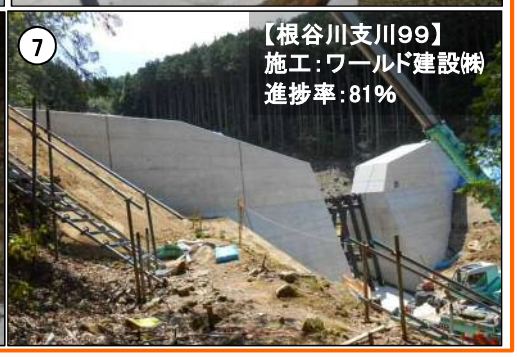
桐原川支川7は、平成30年度は砂防ダム工及び流路工等を行います。本年度工事をもって対策事業を完了させる予定です。

西部建設事務所施工　災害復旧工事箇所





×：河川護岸等の被災箇所
■：砂防工事（緊急）　□：砂防工事（通常）
●：急傾斜工事(緊急)　○：急傾斜工事(通常)

問合せ先：広島県西部建設事務所
災害復旧チーム【災害復旧に関すること】　電話：082-250-8156
事業調整・土砂法指定推進班【土砂災害防止法に関すること】　電話：082-250-8164
住所：広島市南区比治山本町16－12　FAX：082-255-3010

過去の西部建設災害復旧ニュースは、広島県のホームページにも公表しています。
http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/207/fukkyunyusu.html